

編集後記

今号は、1月号恒例の干支特集で、今年は「とり」をテーマとしている。「月刊みんぱく」の干支特集としては12回目となり、干支の動物をひとまわりすることができた。小生は南太平洋のフィジーに毎年のように足を運んでいるが、鳥といって頭に浮かぶのは、フィジー語の「鶏のお使い」という表現だ。この慣用句は、買い物や伝言などのお使いが、てきばきできないことや、できない人を意味している。個人的にも、往復徒歩10分圏のストアまでの買い物に4時間かけた人と同居していたことがあった。暁鶏ぎょうけいの刻に朝食のための買い物リストを渡すと、間違いなく昼過ぎのおやつとして届くことになった。日本語では、俗にいう「鳥頭」が、似た言い回しとなるか。ただし「鶏のお使い」は、落語に登場するような、どこか憎めない、ちょっととぼけてのんびりした人物に使われることが多い印象がある。

くしくも、酉年とりから編集長を引き受けることとなった。「鶏のお使い」や「鳥頭」とならないよう、みなさまからのご指導ご鞭撻を請いたい。(丹羽典生)

みんぱくをもっと楽しみたい 人のために—会員制度のご案内

国立民族学博物館友の会

本館展示の無料入館や特別展示の観覧料割引にぐわえ、『月刊みんぱく』や会員機関誌『季刊民族学』などの定期刊行物や、毎月の友の会講演会、セミナーなどを通して多様な文化の情報を提供しています。

みんぱくフリーパス

1年間、本館展示へ何度でも無料で入館いただけます(特別展示は観覧料割引)。他にも、みんぱくを楽しむための特典がいっぱいです。

国立民族学博物館キャンパスメンバーズ

みんぱくと大学等教育機関との連携を図り、文化人類学、民族学にふれる学びの場を提供することを目的とした会員制度です。

詳細については、一般財団法人千里文化財団までお問い合わせください。
(電話06-6877-8893/平日9:00~17:00)

- 表紙：上) ニワトリの置物 地域：ポルトガル H0151396
中央) 水入れ容器 地域：アメリカ合衆国 H0074886
下) ニワトリの置物 地域：ポルトガル H0150197

次号の予告

特集

災害を越えて(仮)

月刊みんぱく 2017年1月号

第41巻第1号通巻第472号 2017年1月1日発行

編集・発行 人間文化研究機構 国立民族学博物館

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1
電話 06-6876-2151

発行人 池谷和信
編集委員 丹羽典生(編集長) 河合洋尚 菅瀬晶子
南真木人 山中由里子 吉岡乾

デザイン 宮谷一 長岡綾子

制作・協力 一般財団法人千里文化財団

印刷 能登印刷株式会社

*本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係にお願いします。

*本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

交通案内

- 大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分。
- 阪急茨木市駅・JR茨木駅から近鉄バスで「万博記念公園駅(エキスポシティ前)」 「日本庭園前」下車、徒歩約13分。
- 乗用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある民博専用通行口をお通りください。
- タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れてできます。

みんぱくホームページ

<http://www.minpaku.ac.jp/>

みんぱくフェイスブック

<http://www.facebook.com/MINPAKU.official/>

みんぱくツイッター

<http://twitter.com/MINPAKUofficial>

